

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2008年6月30日から2019年12月9日まで
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、実質的にロシア企業の株式（D R（預託証券）を含みます。）に投資し、信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 <b>ロシアエクイティマザーファンド</b> ロシア企業の株式（D R（預託証券）を含みます）
当ファンドの運用方法	■豊富な天然資源を活かし、今後の経済成長が期待されるロシア企業の株式（D R（預託証券）を含みます。）を実質的に主要投資対象とし、信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。 ■銘柄選定にあたっては、成長力、収益性、財務健全性・財務戦略、国の政策や規制、コーポレートガバナンスの5つの視点を重視します。 ■株式の実質組入比率は、原則として高位に保ちます。 ■外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
組入制限	当ファンド ■株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 <b>ロシアエクイティマザーファンド</b> ■株式への投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	■年2回（原則として毎年6月および12月の8日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

# 三井住友・ ロシア株式オープン

## 【運用報告書(全体版)】

(2018年12月11日から2019年6月10日まで)

第 **22** 期

決算日 2019年6月10日

### 受益者の皆さまへ

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、実質的にロシア企業の株式（D R（預託証券）を含みます。）に投資し、信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

 **三井住友DSアセットマネジメント**  
(旧:三井住友アセットマネジメント)  
〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ  
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 当運用報告書についてのお問い合わせ

フリーダイヤル 0120-88-2976  
受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

## ■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数) MSCIロシアインデックス		株式組入 比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率	(円ベース)	期中 騰落率		
	円	円	%		%	%	百万円
18期(2017年6月8日)	6,479	0	△0.6	24.10	△8.0	98.0	861
19期(2017年12月8日)	7,338	0	13.3	27.60	14.5	98.2	871
20期(2018年6月8日)	7,279	0	△0.8	28.08	1.7	90.8	818
21期(2018年12月10日)	7,105	0	△2.4	28.08	0.0	95.0	666
22期(2019年6月10日)	7,648	0	7.6	31.33	11.6	95.7	666

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※MSCIロシアインデックス(円ベース)は、前日の指数を当日の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したもので、設定時を100として2019年6月10日現在知りえた情報にもとづき指数化した当社計算値です。

※MSCIロシアインデックスの著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

## ■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		(参考指数) MSCIロシアインデックス		株式組入 比率
		騰落率	(円ベース)	騰落率	
(期首)	円	%		%	%
2018年12月10日	7,105	—	28.08	—	95.0
12月末	6,591	△7.2	25.26	△10.0	93.7
2019年1月末	7,295	2.7	28.86	2.8	95.1
2月末	7,325	3.1	28.93	3.0	96.4
3月末	7,355	3.5	29.31	4.4	95.5
4月末	7,706	8.5	30.47	8.5	98.0
5月末	7,564	6.5	30.34	8.1	97.4
(期末)					
2019年6月10日	7,648	7.6	31.33	11.6	95.7

※騰落率は期首比です。

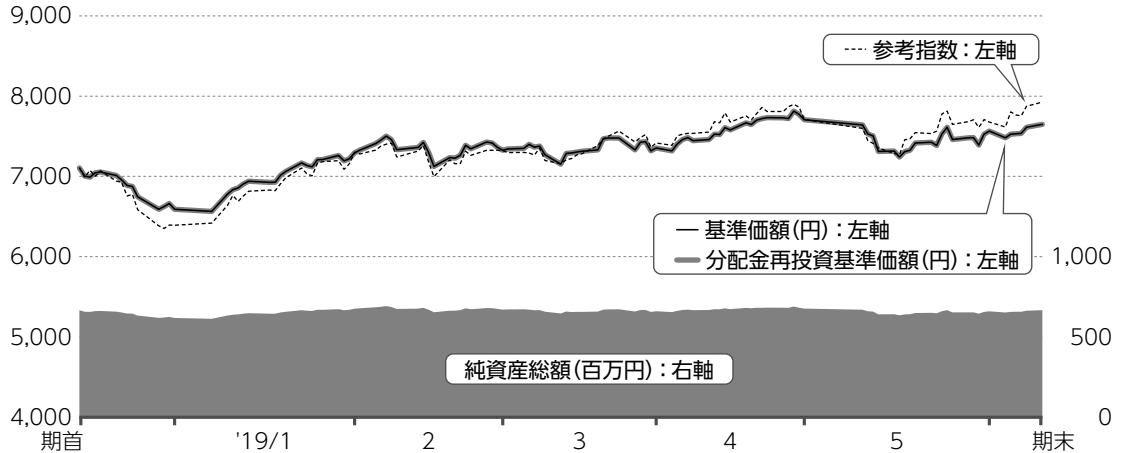
※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

# 1 運用経過

基準価額等の推移について(2018年12月11日から2019年6月10日まで)

## 基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額および参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	7,105円
期末	7,648円 (分配金0円(税引前)込み)
騰落率	+7.6% (分配金再投資ベース)

## 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの参考指数は、MSCIロシアインデックス(円ベース)です。

※MSCIロシアインデックスの著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

**基準価額の主な変動要因(2018年12月11日から2019年6月10日まで)**

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、ロシア企業の株式等へ投資しました。ロシア企業の株式についてはロンドンやニューヨーク等で取引される米ドル建てのDR(預託証券)を中心に投資を行いました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

**上昇要因**

- 期を通じて、原油価格が総じて堅調に推移したことなどから、ロシアの株式市場が上昇したこと

**下落要因**

- 円が米ドルに対して上昇したこと



**DR(預託証券)とは**

Depository Receipt の略で、株式を海外で流通させるために、その株式を銀行などに預託し、その代替として海外で発行される証券をいい、株式と同様に取引所などで取引されます。

**組入れファンドの状況**

組入れファンド	投資資産	騰落率	期末組入比率
ロシアエクイティマザーファンド	外国株式	+8.7%	100.9%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

投資環境について(2018年12月11日から2019年6月10日まで)

当期のロシアの株式市場は、上昇しました。為替市場については、ロシアルーブルは米ドルに対して上昇しました。米ドルは円に対して下落しました。

## ロシア株式市場

期首から12月末にかけては、原油価格の下落や米国の再利上げ懸念などにより調整しました。しかし2019年1月は、米中貿易協議の進展期待や、米国金融当局が利上げに対し慎重姿勢に転換して米国の利上げ懸念が遠のいたことなどから、投資家のリスク回避姿勢が後退し、ロシア株式市場は大きく反発しました。

その後、2月から5月にかけては、米中貿易協議や原油価格の動向に左右され、上値の重い展開となりました。しかし、5月中旬に時価総額の大きいガスプロムが大幅な配当引き上げを発表し、株価が急騰したことで期末にかけて株式市場が押し上げられました。

当期の市場の動きをM I C E X 指数(ロシアルーブル建て)で見ると、12.3%の上昇となりました。また、R T S インデックス(米ドル建て)で見ると、14.5%の上昇となりました。

## 為替市場

米ドル・円は、期を通してみると米ドル安・円高となりました。

米ドル・円は、期首から12月末にかけては、米国株式市場が下落したことを受け、米ドル安・円高の推移となりました。その後、米中貿易協議の進展期待が高まり、米国株式市場が上昇すると、米ドル高・円安基調となりました。5月上旬にトランプ大統領が中国へ強硬姿勢を示すと、為替市場も反転し、期末にかけて米ドル安・円高が進行しました。

米ドル・ロシアルーブルは、期首から12月末にかけてはリスク回避の姿勢が強まったことで、米ドル高・ロシアルーブル安の動きとなりました。1月以降は、米中貿易協議の進展期待などから新興国通貨に対しても楽観的な姿勢がみられ、期末まで緩やかな米ドル安・ロシアルーブル高で推移しました。

米ドル・円は期首112円52銭から期末108円52銭と4円00銭の米ドル安・円高となりました。

米ドル・ロシアルーブルは期首66.59ロシアルーブルから期末64.71ロシアルーブルと1.88ロシアルーブルの米ドル安・ロシアルーブル高となりました。

ポートフォリオについて(2018年12月11日から2019年6月10日まで)

## 当ファンド

「ロシアエクイティマザーファンド」を高位に組み入れました。

## ロシアエクイティマザーファンド

### ●国別配分

ロシア国内に本社を置く企業を中心に運用を行いました。

### ●通貨別配分

ロシア企業についてはロンドンやニューヨーク市場に上場する米ドル建てで取引される預託証券(DR)を中心に組み入れており、組入比率は期末時点では米ドル建てで89.1%(現金等を含む)となっています。ほかには英ポンド建てを1割程度組み入れています。

### ●業種配分

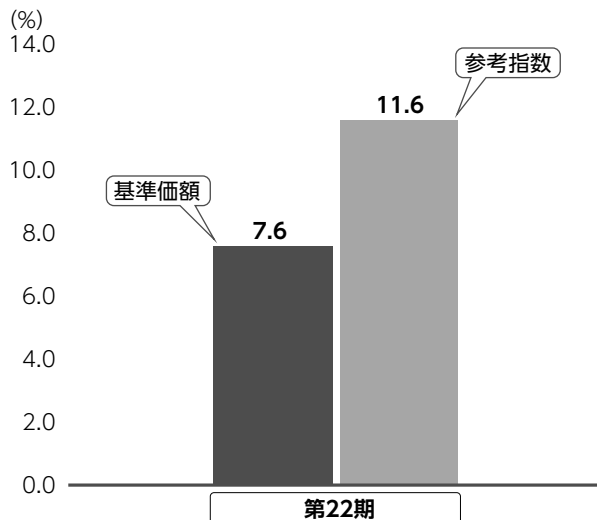
ロシアの産業構造から、エネルギー銘柄および素材銘柄のウェイトが高いポートフォリオとなっています。一方で景気サイクルに耐性のある食品小売りや、ロシア内外で展開する飲料や医薬品、ロシア国内経済の成長からの恩恵が期待できるインターネット関連銘柄の組入れも行っています。

### ●個別銘柄

大幅な銘柄入替えは行いませんでしたが、資金動向に合わせて、エネルギー関連株の組入比率を引き下げる一方、素材銘柄の組入比率を小幅に引き上げました。

ベンチマークとの差異について(2018年12月11日から2019年6月10日まで)

基準価額と参考指数の対比(騰落率)



当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてMSCIロシアインデックス(円ベース)を設けています。

左のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

※基準価額は分配金再投資ベース

分配金について(2018年12月11日から2019年6月10日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第22期
当期分配金	—
(対基準価額比率)	(-%)
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,043

当期の分配は、基準価額水準等を勘案し、見送りいたしました。

なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。  
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

## 2 今後の運用方針

### 当ファンド

「ロシアエクイティマザーファンド」を高位に組み入れます。

### ロシアエクイティマザーファンド

ロシア株式市場は、米中貿易協議の進展とそれに伴う世界経済への影響、また原油価格の動向や米国の対ロ追加制裁に対する思惑などに左右される展開が続くと思われます。短

期的には、先行きに対する不透明感が残り、上値の重い展開が見込まれます。一方で、米国の金融政策は緩和期待が高まっており、ロシアルーブルは安定すると見込まれます。米国で実際に金融緩和が打ち出されれば、投資家のセンチメントがリスク選好になる可能性もあります。

ロシア株式市場に対しては、短期的には若干慎重な姿勢を継続します。概ね、現在の現金比率を維持する方針です。

## 3 お知らせ

### 合併について

三井住友アセットマネジメント株式会社は、2019年4月1日に大和住銀投信投資顧問株式会社と合併し、商号を三井住友DSアセットマネジメント株式会社に変更しました。

### 約款変更について

委託会社の合併に伴う商号変更および電子公告アドレスの変更に対応するため、信託約款に所要の変更を行いました。  
(適用日：2019年4月1日)



## ■ 1万口当たりの費用明細 (2018年12月11日から2019年6月10日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	66円 (31) (31) (3)	0.899% (0.431) (0.431) (0.038)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数) 投信会社：ファンド運用の指図等の対価 販売会社：交付運用報告書等各种資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料 (株式)	1 (1)	0.019 (0.019)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (株式)	0 (0)	0.000 (0.000)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	15 (6) (8) (1)	0.209 (0.083) (0.114) (0.012)	その他費用＝期中のその他費用/期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用 監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	82	1.127	

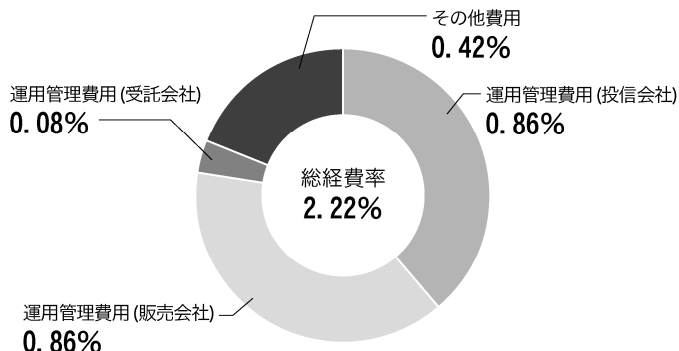
期中の平均基準価額は7,306円です。

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。  
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

## ■ 参考情報 総経費率 (年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第3位を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は2.22%です。

■ 当期中の売買及び取引の状況(2018年12月11日から2019年6月10日まで)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ロシアエクイティマザーファンド	千口 6,894	千円 10,825	千口 42,545	千円 66,774

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 親投資信託の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2018年12月11日から2019年6月10日まで)

項 目	当 期
	ロシアエクイティマザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	64,498千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	634,066千円
(c) 売買高比率 ( a ) / ( b )	0.10

※単位未満は切捨て。

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末(ただし、決算日の属する月については決算日)の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

■ 利害関係人との取引状況等(2018年12月11日から2019年6月10日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2018年12月11日から2019年6月10日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細(2019年6月10日現在)

親投資信託残高

種 類	期首(前期末)	期	末
	口 数	口 数	評 価 額
ロシアエクイティマザーファンド	千口 443,272	千口 407,621	千円 672,412

※ロシアエクイティマザーファンドの期末の受益権総口数は407,621千口です。

※単位未満は切捨て。

## ■ 投資信託財産の構成

(2019年6月10日現在)

項目	期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ロシアエクイティマザーファンド	672,412	99.9
コール・ローン等、その他	899	0.1
投資信託財産総額	673,311	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※ロシアエクイティマザーファンドにおいて、期末における外貨建資産(662,532千円)の投資信託財産総額(672,411千円)に対する比率は98.5%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1米ドル=108.52円、1ユーロ=122.83円、1英ポンド=138.07円、1香港ドル=13.84円です。

## ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年6月10日現在)

項目	期 末
(A) 資 産	673,311,991円
コール・ローン等	899,661
ロシアエクイティマザーファンド(評価額)	672,412,330
(B) 負 債	6,697,180
未 払 解 約 金	6,937
未 払 信 託 報 酬	5,936,342
未 払 利 息	1
そ の 他 未 払 費 用	753,900
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	666,614,811
元 本	871,596,733
次 期 繰 越 損 益 金	△204,981,922
(D) 受 益 権 総 口 数	871,596,733口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,648円

※当期における期首元本額937,761,526円、期中追加設定元本額41,515,806円、期中一部解約元本額107,680,599円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## ■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	当 期
	-1円

## ■ 損益の状況

(自2018年12月11日 至2019年6月10日)

項目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 269円
支 払 利 息	△ 269
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	53,018,244
売 買 益	56,607,952
売 買 損	△ 3,589,708
(C) 信 託 報 酬 等	△ 6,690,437
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	46,327,538
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	66,563,699
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△317,873,159
( 配 当 等 相 当 額 )	( 65,116,255)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	(△382,989,414)
(G) 計 (D + E + F)	△204,981,922
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	△204,981,922
追 加 信 託 差 損 益 金	△317,873,159
( 配 当 等 相 当 額 )	( 65,184,374)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	(△383,057,533)
分 配 準 備 積 立 金	112,891,237

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※期末における、費用控除後の配当等収益(8,899,409円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(1,021,601円)、信託約款に規定される収益調整金(65,184,374円)および分配準備積立金(102,970,227円)より分配可能額は178,075,611円(1万口当たり2,043円)ですが、分配は行っておりません。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

# ロシアエクイティマザーファンド

第9期（2018年12月11日から2019年6月10日まで）

信託期間	無期限（設定日：2014年12月16日）
運用方針	<p>■主としてロシア企業の株式（DR（預託証券）を含みます。）に投資を行います。</p> <p>■銘柄選定にあたっては、成長力、収益性、財務健全性・財務戦略、国の政策や規制、コーポレートガバナンスの5つの視点を重視します。</p> <p>■組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。</p>

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数) MSC Iロシアインデックス(円ベース)		株式組入 比率	純資産 総額
	期中 騰落率	期中 騰落率	期中 騰落率	期中 騰落率		
	円	%		%	%	百万円
5期(2017年6月8日)	13,445	0.3	127.13	△ 8.0	97.0	869
6期(2017年12月8日)	15,368	14.3	145.56	14.5	97.3	879
7期(2018年6月8日)	15,396	0.2	148.10	1.7	90.0	825
8期(2018年12月10日)	15,179	△ 1.4	148.11	0.0	94.1	672
9期(2019年6月10日)	16,496	8.7	165.24	11.6	94.9	672

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※MSC Iロシアインデックス（円ベース）は、前日の指数を当日の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したもので、設定時を100として2019年6月10日現在知りえた情報にもとづき指数化した当社計算値です。

※MSC Iロシアインデックスの著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

## 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		(参考指数) MSC Iロシアインデックス(円ベース)		株式組入 比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率	
(期首) 2018年12月10日	円	%		%	%
	15,179	—	148.11	—	94.1
12月末	14,095	△7.1	133.24	△10.0	93.7
2019年1月末	15,627	3.0	152.22	2.8	95.0
2月末	15,715	3.5	152.59	3.0	96.2
3月末	15,804	4.1	154.58	4.4	95.1
4月末	16,579	9.2	160.69	8.5	97.4
5月末	16,308	7.4	160.03	8.1	96.6
(期末) 2019年6月10日	16,496	8.7	165.24	11.6	94.9

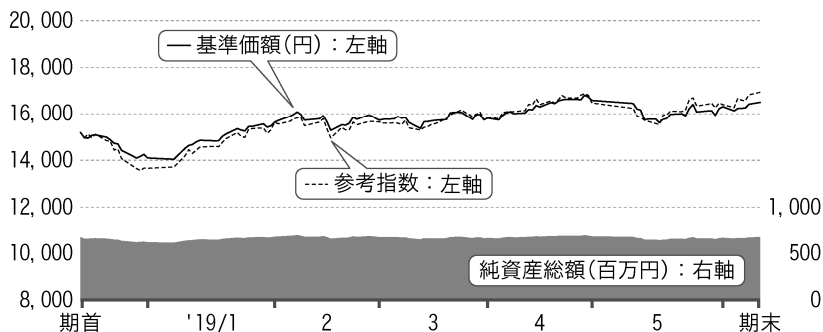
※騰落率は期首比です。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

## 1 運用経過

### ▶ 基準価額等の推移について (2018年12月11日から2019年6月10日まで)

#### 基準価額等の推移



期 首	15,179円
期 末	16,496円
騰 落 率	+8.7%

※参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

※当ファンドの参考指数は、MSCIロシアインデックス（円ベース）です。

※MSCIロシアインデックスの著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

### ▶ 基準価額の主な変動要因 (2018年12月11日から2019年6月10日まで)

当ファンドは、ロシア企業の株式等へ投資しました。ロシア企業の株式についてはロンドンやニューヨーク等で取引される米ドル建てのDR（預託証券）を中心に投資を行いました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

#### 上昇要因

・ 期を通じて、原油価格が総じて堅調に推移したことなどから、ロシアの株式市場が上昇したこと

#### 下落要因

・ 円が米ドルに対して上昇したこと

### ▶ 投資環境について (2018年12月11日から2019年6月10日まで)

当期のロシアの株式市場は、上昇しました。為替市場については、ロシアルーブルは米ドルに対して上昇しました。米ドルは円に対して下落しました。

#### ロシア株式市場

期首から12月末にかけては、原油価格の下落や米国の再利上げ懸念などにより調整しました。しかし2019年1月は、米中貿易協議の進展期待や、米国金融当局が利上げに対し慎重姿勢に転換して米国の利上げ懸念が遠のいたことなどから、投資家のリスク回避姿勢が後退し、ロシア株式市場は大きく反発しました。

その後、2月から5月にかけては、米中貿易協議や原油価格の動向に左右され、上値の重い展開となりました。しかし、5月中旬に時価総額の大きいガスプロムが大幅な配当引き上げを発表し、株価が急騰したことで期末にかけて株式市場が押し上げられました。

当期の市場の動きをM I C E X指数（ロシアルーブル建て）で見ると、12.3%の上昇となりました。また、R T Sインデックス（米ドル建て）で見ると、14.5%の上昇となりました。

#### 為替市場

米ドル・円は、期を通してみると米ドル安・円高となりました。

米ドル・円は、期首から12月末にかけては、米国株式市場が下落したことなどを受け、米ドル安・円高の推移となりました。その後、米中貿易協議の進展期待が高まり、米国株式市場が上昇すると、米ドル高・円安基調となりました。5月上旬にトランプ大統領が中国へ強硬姿勢を示すと、為替市場も反転し、期末にかけて米ドル安・円高が進行しました。

米ドル・ロシアルーブルは、期首から12月末にかけてはリスク回避の姿勢が強まったことで、米ドル高・ロシアルーブル安の動きとなりました。1月以降は、米中貿易協議の進展期待などから新興国通貨に対しても楽観的な姿勢がみられ、期末まで緩やかな米ドル安・ロシアルーブル高で推移しました。

米ドル・円は期首112円52銭から期末108円52銭と4円00銭の米ドル安・円高となりました。

米ドル・ロシアルーブルは期首66.59ロシアルーブルから期末64.71ロシアルーブルと1.88ロシアルーブルの米ドル安・ロシアルーブル高となりました。

---

### ▶ ポートフォリオについて (2018年12月11日から2019年6月10日まで)

---

#### 国別配分

ロシア国内に本社を置く企業を中心に運用を行いました。

#### 通貨別配分

ロシア企業についてはロンドンやニューヨーク市場に上場する米ドル建てで取引される預託証書（DR）を中心に組み入れており、組入比率は期末時点では米ドル建てで89.1%（現金等を含む）となっています。ほかには英ポンド建てを1割程度組み入れてしています。

#### 業種配分

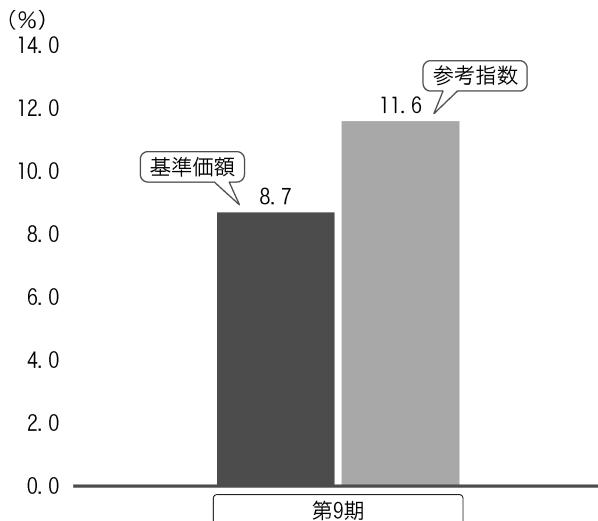
ロシアの産業構造から、エネルギー銘柄および素材銘柄のウェイトが高いポートフォリオとなっています。一方で景気サイクルに耐性のある食品小売りや、ロシア内外で展開する飲料や医薬品、ロシア国内経済の成長からの恩恵が期待できるインターネット関連銘柄の組入れも行っていきます。

#### 個別銘柄

大幅な銘柄入替えは行いませんでしたが、資金動向に合わせて、エネルギー関連株の組入比率を引き下げ一方、素材銘柄の組入比率を小幅に引き上げました。

▶ ベンチマークとの差異について (2018年12月11日から2019年6月10日まで)

基準価額と参考指数の対比 (騰落率)



当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてMSCIロシアインデックス（円ベース）を設けています。

左のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

## 2 今後の運用方針

ロシア株式市場は、米中貿易協議の進展とそれに伴う世界経済への影響、また原油価格の動向や米国の対ロ追加制裁に対する思惑などに左右される展開が続くと思われます。短期的には、先行きに対する不透明感が残り、上値の重い展開が見込まれます。一方で、米国の金融政策は緩和期待が高まっており、ロシアルーブルは安定すると見込まれます。米国で実際に金融緩和が打ち出されれば、投資家のセンチメントがリスク選好になる可能性もあります。

ロシア株式市場に対しては、短期的には若干慎重な姿勢を継続します。概ね、現在の現金比率を維持する方針です。



## ロシアエクイティマザーファンド

### ■ 1万口当たりの費用明細(2018年12月11日から2019年6月10日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 売買委託手数料 (株式)	3円 (3)	0.018% (0.018)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有価証券取引税 (株式)	0 (0)	0.000 (0.000)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	15 (13) (2)	0.095 (0.083) (0.012)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	18	0.113	

期中の平均基準価額は15,688円です。

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

### ■ 当期中の売買及び取引の状況(2018年12月11日から2019年6月10日まで)

株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	ア メ リ カ	百株 50	千米ドル 107	百株 68	千米ドル 236
	ユ ー ロ		千ユーロ		千ユーロ
	オーストリア	—	—	114	214

※金額は受渡し代金。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

### ■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2018年12月11日から2019年6月10日まで)

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	64,498千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	634,066千円
(c) 売買高比率 ( a ) / ( b )	0.10

※単位未満は切捨て。

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末(ただし、決算日の属する月については決算日)の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

## ロシアエクイティマザーファンド

### ■ 利害関係人との取引状況等(2018年12月11日から2019年6月10日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

### ■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2018年12月11日から2019年6月10日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

### ■ 組入れ資産の明細(2019年6月10日現在)

外国株式

銘 柄	期首(前期末)		期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
GAZPROM-ADR	189	189	133	14,483	エネルギー
MOBILE TELESYSTEMS-SP ADR	313	283	231	25,088	電気通信サービス
SURGUTNEFTEGAS-SP ADR	252	252	97	10,541	エネルギー
X 5 RETAIL GROUP NV-REGS GDR	118	108	340	36,959	食品・生活必需品小売り
NOVATEK PJSC-SPONS GDR REG S	29	27	539	58,502	エネルギー
NOVOLIPETSK STEEL-GDR	188	188	498	54,113	素材
ROSNEFT OIL COMPANY-GDR	366	366	236	25,619	エネルギー
PAO TMK-GDR REGS (EXCH-LDN)	315	315	119	12,989	エネルギー
SEVERSTAL-GDR REG 5	295	285	461	50,127	素材
MAGNIT OJSC-SPON GDR REGS	118	118	170	18,547	食品・生活必需品小売り
SBERBANK PAO-SPON ADR	316	316	496	53,869	銀行
PHOSAGRO OAO-GDR REG S	174	174	218	23,699	素材
MMC NORILSK NICKEL PJSC-ADR	120	170	360	39,110	素材
TATNEFT-SPONSORED ADR (EXCH-LDN)	76	71	500	54,315	エネルギー
LUKOIL PJSC-SPON ADR	72	61	486	52,767	エネルギー
YANDEX NV-A	125	125	469	50,934	メディア・娯楽
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	3,072 16	3,054 16	5,360 -	581,671 <86.5%>
(ユーロ・・・オーストリア)			千ユーロ		
RAIFFEISEN BANK INTERNATIONAL AG	114	-	-	-	銀行
ユーロ計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	114 1	- -	- -	- <-%>
(イギリス)			千英ポンド		
COCA-COLA HBC AG-CDI	140	140	409	56,501	食品・飲料・タバコ
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	140 1	140 1	409 -	56,501 <8.4%>
合 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	3,327 18	3,194 17	- -	638,172 <94.9%>

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※一印は組入れなし。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

# ロシアエクイティマザーファンド

## ■ 投資信託財産の構成

(2019年6月10日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円 638,172	% 94.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	34,239	5.1
投 資 信 託 財 産 総 額	672,411	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※期末における外貨建資産(662,532千円)の投資信託財産総額(672,411千円)に対する比率は98.5%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1米ドル=108.52円、1ユーロ=122.83円、1英ポンド=138.07円、1香港ドル=13.84円です。

## ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年6月10日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	683,966,976円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	18,473,475
株 式 ( 評 価 額 )	638,172,763
未 収 入 金	23,115,937
未 収 配 当 金	4,204,801
(B) 負 債	11,560,062
未 払 金	11,559,651
未 払 利 息	13
そ の 他 未 払 費 用	398
(C) 純 資 産 総 額 ( A - B )	672,406,914
元 本	407,621,442
次 期 繰 越 損 益 金	264,785,472
(D) 受 益 権 総 口 数	407,621,442口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 ( C / D )	16,496円

※当期における期首元本額443,272,170円、期中追加設定元本額6,894,309円、期中一部解約元本額42,545,037円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は、三井住友・ロシア株式オープン407,621,442円です。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## ■ お知らせ

### <約款変更について>

委託会社の合併に伴う商号変更および電子公告アドレスの変更に対応するため、信託約款に所要の変更を行いました。(適用日：2019年4月1日)

## ■ 損益の状況

(自2018年12月11日 至2019年6月10日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	10,422,741円
受 取 配 当 金	10,419,548
受 取 利 息	7,472
支 払 利 息	△ 4,279
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	45,722,415
売 買 益	78,895,142
売 買 損	△ 33,172,727
(C) 信 託 報 酬 等	△ 626,361
(D) 当 期 損 益 金 ( A + B + C )	55,518,795
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	229,564,946
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	3,931,192
(G) 解 約 差 損 益 金	△ 24,229,461
(H) 計 ( D + E + F + G )	264,785,472
次 期 繰 越 損 益 金 ( H )	264,785,472

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、保管費用等を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。